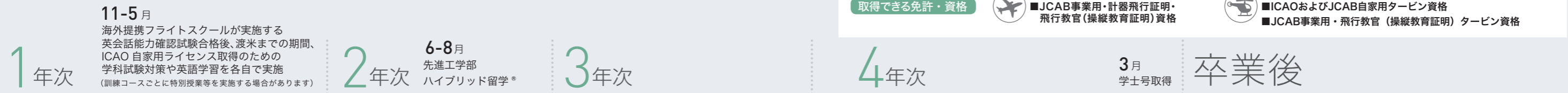


JCAB事業用および飛行教官資格取得を国内訓練を多用しめざす

JCAB事業用・海外ライセンス Bコース



1年次 11-5月
海外提携フライトスクールが実施する英会話能力確認試験合格後、渡米までの期間、ICAO 自家用ライセンス取得のための学科試験対策や英語学習を各自で実施 (訓練コースごとに特別授業等を実施する場合があります)

★飛行訓練参加に伴う推奨英語能力レベル TOEIC®(L&R) 500点以上

POINT フライト体験後に、今後の進路を決定できる!

8月 固定翼か回転翼、およびコースの決定

9月 飛行操縦体験 (任意参加)
各自が希望する翼を合計60分程度 国内提携フライトスクールにて実施
実際に飛行教官が操縦する飛行機やヘリコプターに同乗し、フライトを体験。まずは、それぞれの翼で空を飛ぶということを身体で感じます。

★飛行訓練参加に伴う推奨英語能力レベル TOEIC®(L&R) 600点以上

9月 米国提携フライトスクールによる英会話能力確認試験 合格者

海外提携校での飛行訓練
海外の提携フライトスクールにて ICAO自家用(単発)を取得
飛行訓練※1 TOTAL63時間
訓練費: US\$ 21,119

POINT ICAO (FAA) 自家用は、日本の自家用ライセンスに書き換え可(ただし、学科試験(法規のみ)の合格が必要)

★飛行訓練参加に伴う推奨英語能力レベル TOEIC®(L&R) 700~750点程度 + ケンブリッジ英検リンガルススキル (スピーキング) B1以上

9月 米国提携フライトスクールによる英会話能力確認試験 合格者

POINT ICAO (FAA) 自家用は、日本の自家用ライセンスに書き換え可(ただし、学科試験(法規のみ)の合格が必要)

海外提携校での飛行訓練
海外の提携フライトスクールにて ICAO自家用(ピストン)を取得※2
飛行訓練※1 TOTAL68時間
または ICAO自家用(タービン)を取得※3
飛行訓練※1 TOTALピストン56時間 +タービン10時間
訓練費: US\$ 40,707

POINT ICAO (FAA) 自家用は、日本の自家用ライセンスに書き換え可(ただし、学科試験(法規のみ)の合格が必要)

2年次 6-8月
先進工学部 ハイブリッド留学*

8月 大阪航空 入学試験

海外提携校での飛行訓練
海外の提携フライトスクールにて ICAO自家用(単発)を取得
飛行訓練※1 TOTAL63時間
訓練費: US\$ 21,119

POINT ICAO (FAA) 自家用は、日本の自家用ライセンスに書き換え可(ただし、学科試験(法規のみ)の合格が必要)

大阪航空(八尾空港)での飛行訓練
JCAB事業用を取得 (計器飛行証明+多発限定拡張)
飛行訓練※1・6 TOTAL230時間
訓練費C: ¥17,858,500(税込)
大阪航空支援制度利用の場合 ¥15,645,850(税込)

POINT 日本と海外の空を経験することで、気候・環境の違いも体感

2-3月

8月

2-3月

3年次

大阪航空(八尾空港)での飛行訓練
JCAB事業用を取得 (計器飛行証明+多発限定拡張)
飛行訓練※1・6 TOTAL230時間
訓練費C: ¥17,858,500(税込)
大阪航空支援制度利用の場合 ¥15,645,850(税込)

POINT 日本と海外の空を経験することで、気候・環境の違いも体感

2-3月

8月

2-3月

4年次

Aタイプ
3年次までの成績、飛行訓練状況等を踏まえ、4年次以降の飛行訓練の時期が変わります。

Bタイプ
4-6月

Cタイプ
4-3月

大阪航空(八尾空港)での飛行訓練
JCAB事業用を取得 (計器飛行証明+多発限定拡張)
飛行訓練※1 TOTAL230時間
訓練費: 訓練費Cに含まれます
エアライン、航空機運営会社、飛行教官 (要追加飛行経験+資格試験合格)等

POINT 事業用取得後、追加飛行時間、各試験を経て飛行教官(操縦教育証明)もめざせます

Aタイプ
3年次までの成績、飛行訓練状況等を踏まえ、4年次以降の飛行訓練の時期が変わります。

Cタイプ
4-12月

大阪航空(八尾空港)での飛行訓練
JCAB事業用(タービン)を取得
飛行訓練※1・6 TOTAL125時間
訓練費: 訓練費Dに含まれます
自治体、消防・警察、ヘリコプター運営会社、飛行教官 (要追加飛行経験+資格試験合格)等

POINT 日本と海外の空を経験することで、気候・環境の違いも体感

- 訓練時間・期間は天候および個人の技量等により変動する場合があります。また、記載の飛行訓練時間は、あくまで平均的な訓練時間です。訓練時間は修得状況により個人差があり、追加費用が発生する可能性があります。
- 留学時の留学国や留学国航空局、提携フライトスクールおよび海外情勢等の事情により実施ができない場合があります。*
- 渡航に際し、ビザの取得ができない場合は本コースで訓練を受けることができません。*
- 渡航の際に必要なビザ申請において、操縦訓練費用(総額)や滞在期間中に必要な生活費など、留学国滞在中のあらゆる費用を賄う十分な資金があることを証明する預金残高証明書の提出が必要です。
- 渡航(米国内での操縦訓練を想定)に際し、FAA Medical Certificates (3rd class以上)の取得が必要です。診断書の取得ができない場合は本コースで訓練を受けることができません。*
- 渡航(米国内での操縦訓練を想定)に際し、Flight Training Security Program (FTSP)にフライトトレーニングの許可申請が必要です。飛行許可が下りない場合は本コースで訓練を受けることができません。*
- 海外提携のフライトスクール入校に際し英語の能力証明書等は必要ありませんが、海外提携フライトスクールが実施する英会話能力確認試験に合格する必要があります。また、資格取得のための飛行訓練および各種試験(筆記、口述、実技、無線等)はすべて英語で行われ、かつ、渡航前の事前教育も英語が主となるなど、相当の英語力が求められるため、渡航前より推奨英語能力レベル★を設定しています。
- 記載の飛行訓練内容、飛行訓練時間・期間および訓練費は、2022年5月1日時点のものです。今後、諸状況により予告なしに変更、追加することがあります。
- その他、渡航先の入国条件がクリアにならない場合には、本コースは継続できません。
- ※そのような場合、国内ライセンスコースを活用しての資格取得をめざすこととなります。これに伴い訓練費用は増額となります。

取得できる免許・資格

- ICAOおよびJCAB自家用資格
- JCAB事業用・計器飛行証明・飛行教官(操縦教育証明)資格
- ICAOおよびJCAB自家用ピストン資格
- ICAOおよびJCAB自家用タービン資格
- JCAB事業用・飛行教官(操縦教育証明)タービン資格

※1 飛行訓練にはFTD訓練時間を含みます。また、各種資格取得の課程で学科教育があります。
 ※2 ICAO自家用(ピストン)のみ取得して帰国の場合、訓練費はUS\$ 32,698程度。
 ※3 ICAO自家用(タービン)については、指導教員と要相談。取得資格によっては、以降の訓練内容、期間、費用が変動することがあります。
 ※4 3年次までの成績、飛行訓練状況等を踏まえ、大阪航空および本学が協議のうえ、許可を得た者のみ選択可能。
 ※5 大阪航空と工学院大学を2~3週間ごとに行き来しての飛行訓練を行います。授業や卒業研究で大学に帰京している期間は操縦訓練期間から除外されます。
 ※6 訓練内容によっては、訓練場所が変更する場合があります。
 ●=飛行訓練時間はどのタイプを選択しても、合計で230時間です。重複するものではありません。
 ○=飛行訓練時間はどのタイプを選択しても、合計で125時間です。重複するものではありません。